

新型コロナウイルス感染症に対する日本赤十字社の対応

1 日本赤十字社の対応

現在、新型コロナウイルス感染症が、国内はもとより世界的に深刻な問題となっております。

日本赤十字社は、発生初期から、クルーズ船等への救護班、DMAT（災害派遣医療チーム）要員を派遣し、乗員乗客の健康の確保等に努めました。

現在、全国の赤十字病院において新型コロナウイルス感染症の治療及び感染拡大防止のための活動に取り組んでおります。

また、感染拡大防止ための情報発信などに努めております。

2 日本赤十字社奈良県支部の対応

奈良県支部では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、次のことに取り組んでいます。

Ⅱ 医療物資の受付等 Ⅱ

奈良県の要請に応じて、新型コロナウイルス感染症の治療等にあっておられる医療従事者等を感染から守るため、寄付による医療物資（①医療用ガウン ②ビニールカップ ③マスク）の受付を行いました。

寄せられた医療物資は、必要とされる県内の医療機関、社会福祉施設へお届けしました。



医療物資集積場所

Ⅱ 地域赤十字奉仕団によるマスク作製 Ⅱ

マスク不足が深刻化されていることから、地域赤十字奉仕団活動の一貫として、手作りマスクの作製に取り組んでいただいている奉仕団に対して、材料調達の支援や材料調達経費の助成を行っています。地域赤十字奉仕団で作製されたマスクは、県内学校(小学校・幼稚園等)、高齢者施設、障害者施設等へ寄贈されています。



安堵町赤十字奉仕団によるマスク作製

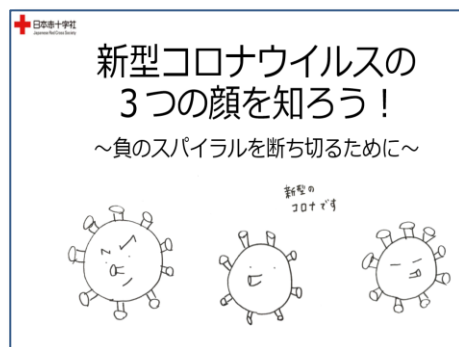
II 拡大防止・感染予防の啓発 II

* 関係者への情報提供

県内の感染拡大防止・感染予防の啓発として、地区区分、有功会、地域奉仕団、特殊奉仕団等の関係者にパンフレット「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう! ~負のスパイラルを断ち切るために~」、「社会を分断する不安の感染」を送付しました。

* 青少年赤十字向け教材の提供

多くの学校では休校などを余儀なくされており、そのような状況の中でも、新型コロナウイルス感染症のリスクを軽減し、感染症について学ぶことができる教材として、パンフレット「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう! ~負のスパイラルを断ち切るために~」を県内の幼稚園・保育所・小中学校へ送付しました。



パンフレット

3 奈良県赤十字血液センターの対応

献血確保を推進するため、奈良県に対して、県内公的機関に献血協力を一層進めてもらえるよう通知いただく要請をしました。

また、従来にも増してより徹底した「3つの密（密閉・密集・密接）」対策として、透明仕切りの設置や、献血バスおよび固定施設での間隔を空けた待合椅子の配置、手指消毒および体温測定の実施等を行い、安全な献血会場の運営等を行っています。

さらに、献血会場での混雑を避けるために、事前に来所予定時間をご予約いただいたうえで、献血にお越しいただくようお願いをしております。



感染予防のためのビニールシートを設置した献血場所



事前予約にご協力を!!

予約可能な時間はコチラ ⇒

ご予約は、ラフラッドのWeb予約をぜひご利用ください!

お電話でのお問い合わせも承っております。



ラフラッドの登録はコチラ

全血献血		成分献血	
(血液センター)	(献血ルーム)	(血液センター)	(献血ルーム)
9:15	10:15	9:00	10:00
9:45	11:00	9:30	10:30
10:30	11:45	10:15	11:30
11:00	13:45	10:45	12:00
11:45	14:30	11:30	13:30
13:15	15:15	13:00	14:00
13:45	16:00	13:30	15:00
14:30	16:30	14:15	15:30
15:00	17:00	14:45	16:15
15:45	17:30	15:30	
16:15			
16:45			